

メイプル



(11月号 NO①)



令和3年11月1日
ニュージャーシー日本人学校
校長 菱沼省二

【校長より】

京都について

日本国内では、コロナの感染状況がようやく改善に向かっているようです。いくら遠い所にいる我々にとっても、国内の状況が改善したと聞くとホッとするものです。

東京の公立中学校は、ようやく修学旅行を再開する所が増えてきたそうです。我々は、京都の修学旅行へはいけません。イメージの世界で京都旅行楽しんでください。

①『龍安寺石庭』

京都龍安寺の石庭はあまりにも有名です。海外から日本に来る観光客の間でも「人気ナンバーワン」と聞いたことがあります。石庭の石は「15個」あるのですが、どこから見ても「15個全ての石が見えることはない」と言われています。なぜでしょうか。我々に何かを伝えているのでしょうか。

私は、日本の寺院でじっくり庭を見たり、瞑想したりすることが好きです。龍安寺の石庭でも30分~40分間、庭をじっと見ていました。するとある僧侶が私のところへ来て話しかけます。

「石庭の石が全て見えないことに、はっきりとした答えはありません。庭を見た全ての人が答えを見出せばいいのです。しかし、私の答えは『人間は自分の心のすべてが見えることはない』と考えます。それを苦痛と思わず、だからこそ人生は楽しいのだと考えます」



龍安寺石庭

②『高台寺』

※清水寺から徒歩10分程度にある、秀吉の奥様「ねね」が建てたお寺

高台寺にも日本庭園があります。訪問するたびに、敷かれている砂の模様はかなり変化があります。いつもと同様に、私が庭をじっと見つめていると、高台寺の女性職員（高台寺にはボランティアらしき職員が複数います）が話しかけてきます。「この庭にある砂の山は、この庭の訪問者への「歓迎の気持ち」を表しています。

その日、庭には3つの小さな砂山がありました。お客を迎える高台寺職員の気持ちを表している。「銀閣寺の砂山はたった一つだけれど、とても大きかった。一つだけでも大きくして、歓迎の気持ちを表現しているのかな？」そんなことを考える自分がいました。

高台寺や龍安寺でも、他の神社仏閣でも残念なことがあります。庭園をじっくり見ている日本人観光客がほとんどいないことです。縁側に座って、じっくり日本庭園の美しさ、庭が持っている意味を見つけようとしているのは、西洋からきている観光客だけです。その人の国籍を正確にわかりませんが、ヨーロッパの言語（フランス語、ドイツ語、英語等）を使っている可能性が高いようです。

日本の伝統文化を理解しようとして、縁側に長い時間座っている。外国人観光客の気持ちは嬉しいです。しかし、日本人がそれを理解しようとしないうちに寂しさを感じます。ヨーロッパの大きな公園には、「日本庭園」がよくあります。多くの人に、日本庭園の美しさ、主張に触れてほしいです。

【世界に学ぶ】

『エボラガール』

中3女子 アクラ（ガーナ）補習授業校

エボラガールがやってくるぞ
エボラウイルスがうつっちゃうぞ

リベリアから来た女の子
指を刺されて去って行く
何も言わずに去ってゆく
白い肌の女の子
誰も友達いないけど
誰も握手しないけど
それでも強く立っている
それでも強く生きている

西アフリカから来た人はこっちにおいでと
呼び出され空港出るまで気が気でない
早く行きたい自由な場所へ

西アフリカはエボラの地
そんなことを誰が決めたの
そんなの誰も決めてない
そんな目では見ないでよ

人には権利があるはずだ
人には自由があるはずだ
病気への差別、病気への偏見、病気への無理解
一人一人が変わらなければ、一人一人が伝えなければ

エボラガールなんていないんだよ
自分で考えてちゃんと理解してちゃんと向き合おう
エボラガールが遊んでいる、エボラガールが笑っている

彼女もみんなわかっている
差別は人が作るもの
差別は人がなくすもの



「エボラガール」という言葉を聞いて胸を突かれました。
偏見や差別は必ずしも肌の色・言葉・貧富の違いからだけで生まれるものではありません。人間の無知や科学的な知識がないことも、その大きな原因の一つなのです。

かつて、日本ではハンセン病患者が非人間的な扱いを受けました。その記憶が蘇ります。
海外生活をしている彼女だからこそ見えてくる、そんな世界観と感じます。

「差別は人が作るもの、差別は人がなくすもの」
非常に大切な言葉です。

【お別れ集会①】

『「NJ校の伝統」—受け継いでいくのは...』

9年 宮崎 梨世

みなさんは、「NJ校の伝統」には何があると思いますか。また、考えたことはありますか。帰りのバスで最後まで手を振ってくれる先生方に手を振り返す、全校集会で生活指導の先生のクラスの人が今月の目標についての寸劇をする、誕生日の人のために何か企画をする。

人それぞれ想像するものは違うと思いますが、どれも大切なものに代わりないはず。そこで、今回はその中の一つである、お別れ集会についてお話ししようと思います。

私はNJ校で2年半過ごしてきた中で、たくさんのお別れ集会をみてきました。それらを通して思ったことは、「このお別れ集会がいつまでも続いてほしい」です。クラスメイトのみんなが心を込めてメッセージを送る、お別れする友達のことを思ってみんなで歌を歌う、最後に全員の手でアーチを作って送り出す、といった、NJ校らしいお別れ集会は、お別れする人にとっても私たちにとっても、貴重な時間となります。これが、今まで受け継がれてきた「NJ校の伝統」です。NJ校のお別れ集会は、寂しさの中にも、「NJ校でこの仲間たちと過ごしてきた良かった！」と、改めて実感できるものであるべきだと私は思います。友達の良い所を新たに発見できるような、そんなお別れ集会も素敵です。あの温かな雰囲気、私は好きです。

12日の隼人くんのお別れ集会では、1年生のみんなが隼人くんへ想いのこもったメッセージを届けてくれました。1年生のみんなの絆を感じる、素晴らしいお別れ集会でした。

こうした、みんなにとって最高のお別れ集会にするためには、一人一人が「こんなお別れ集会にしたい！」と、意識する必要があります。形式的にその場にいるのではなく、僕私も、友達を送り出すんだ、という意欲的な姿勢が大切です。みなさんも、どんなお別れ集会したいか、一度考えてみてください。

実は今まで、私を始め、副会長、集会委員長、先生方で「伝統のお別れ集会」をみんなに知ってもらうためにはどうすれば良いかを一生懸命考えてきました。たくさん悩みましたし、不安でもありました。

しかし、12日、私たちの目標は達成されました。当日の感動は今でも忘れられません。それは、1年生のみんなのおかげでもあります。

私たち9年生は今年で卒業となりますが、今までNJ校の「伝統」を大切に受け継いできました。そして、この伝統を、今度はみなさんが繋げてほしいなと思います。伝統を伝えるだけではいけません。バトンを受け取り、次に繋げていくことが重要です。当たり前だと思っていてその価値に気づいていない人、まだはっきりとNJ校のことをわかっていない人、気づいていてもそれを伝える勇気が出ない人、もっとNJ校について知りたいなと思っている人、さまざまだと思います。そんなNJファミリーみんなと「NJ校の伝統」を受け継いでいってください。私たちのバトンを、みなさんへ託します。受け継がれていく—「NJ校の伝統」



お別れ集会 (7/8)



お別れ集会 (10/12)



お別れ集会 (10/12)

【お別れ集会②】

『同じ空の下で』

9年 谷元 音芭

私は七年生のとき、このNJ校に転校してきました。当時の友達と離れることが嫌だった私は、アメリカに来るのに反対でした。ですが、今は両親にアメリカに連れてきてもらったことに感謝しています。

最初のころはNJ校に馴染めるか、友達ができるかどうかとても不安でした。しかし、その心配は必要ありませんでした。NJ校の皆さんはとてもフレンドリーで、優しい雰囲気私を迎え入れてくれたからです。「分からないことは何でも聞いてね」と優しく声をかけてくださった上級生、「一緒に遊ぼう」と誘ってくれた下級生、もう何年も一緒に過ごしているかのように接してくれたクラスメイト、そのほかにもたくさんの暖かい言葉をもらいました。あのときの私にとって、心強い支えになったのを今でも覚えています。



お別れ集会(10/12)

10月12日、お別れ集会がありました。実はあの日の二か月ほど前、お別れ集会がコロナウイルスの影響で雰囲気が少し変わってしまったということについて、校長先生、紗椰さん、梨世さん、私の四人で話し合いをするようになりました。

コロナウイルスによって、前よりも心の距離が出来てしまっていたのを感じていた私たちは何とかしたいと思っていました。だから、みんなで休み時間に集まったり、意見を出し合ったり、他の先生方とも相談をしました。

そこで曖昧になっていた歌をしっかりと歌うのと、手でアーチを作ることを復活させることになりました。12日のお別れ集会での「同じ空の下で」は、皆さんの歌声が綺麗に重なってとても感動しました。アーチも、久しぶりに実行することが出来て良かったと思います。私にとって過去最高のお別れ集会になりました。

また、NJ校を転校した子にとって新しい一歩を踏み出す理由になった会になれば良いなと思います。

別れとは一見寂しいものに見えますが、

「同じ空の下で」で出てくる歌詞

「今日のこの別れはきみと僕のスタート」

のように、別れは終わりではなく、始まりです。

転校する子も違う学校で頑張るはずだから、自分も頑張ろうという考えが大切です。そして、お別れ集会はNJ校だからこそ開ける会であり、NJ校を転校する人にとって、とても大事な会です。

また、お別れ集会を前の雰囲気のようにもっていったのは間違いなく、皆さんの協力のおかげです。

本当にありがとうございました。



お別れ集会(10/12)

日本人学校等、在外教育施設の児童生徒は、多くの別れを体験します。本校でも、毎年、約三分の一の児童生徒が本校から離れて行きます。アメリカに来る時にも、寂しい別れを体験してきました。

特に現在は、コロナパンデミックの中、たくさんの制約や不安を抱えながら家庭・学校で生活を送っています。本校の生徒は、本当によく頑張っています。「別れを体験することはつらい面も多々あると思いますが、今後の人生のエネルギーとなるような「お別れ」にしてほしいと思います。

今回の「お別れ集会改善」の取組は、NJ校のためだけではなく、彼ら自身の「人生改善」にもつながるものと考えます。 **ありがとう！ よく頑張った！**

【メイプル祭】

『メイプル祭の体験を生かす』

9年 中村隆悟

僕は今年度の2学期から編入した為、この「メイプル祭」は僕にとって最初であり、NJ校最後のイベントになりました。

本番当日まで短い準備期間の中、クラスが一つになりアイデアを出し合い、「前進全励」で日々準備し、一つの作品を作り上げていきました。現地校ではなかなか味わうことが出来なかった「一体感」や「協調性」の大切さを体験することが、メイプル祭で出来ました。

中等部全員が劇・合奏・合唱に集中し日頃の練習の成果を発揮することが出来たので、練習の時より、より良い発表をすることが出来たと思います。何事も一生懸命取り組めば、人の心を動かすことができるんだなと思いました。

本番で結果を出すということは日々の準備を大切にし、努力し、自己ベストを更新することだと思いました。

僕はこれから受験という次のステージに進みます。不安な気持ちになる時もありますが、一日一日を大事にして、事前の準備を積み重ねながら、本番に打ち勝てる強い心を持つ自分になれるように、メイプル祭の体験を生かし、精一杯頑張っていこうと思っています。



【アメリカに学ぶ】

ジャコランタン (Jack-o'-Lantern) の由来



文責 菱沼省二

【伝説・物語】

ジャック・オ・ランタンの言い伝えは、数百年前のアイルランドの歴史にさかのぼります。その言い伝えによると、みすぼらしくて飲んだくれの「けちんぼジャック」という男がいました。ジャックはいたずら好きで、だれにでもいたずらをするのです。悪魔にさえも。

ある日、ジャックは悪魔をだまして、りんごの木に登らせました。悪魔がりんごの木に登ると、ジャックは急いで、木の幹の周りに十字架を置きました。悪魔は（十字架が怖くて）下に降りることができませんでした。ジャックは、悪魔に自分が死んでも魂を絶対にとらないことを約束させました。悪魔が魂をとらないと約束し、ジャックは十字架を取りのぞき、悪魔は木から降りました。

それから何十年も立ち、ジャックは死にました。彼が天国の門に行くと、「現世では、おまえはとてもケチで乱暴者な生活を送って来た」と言われ、天国に行くことを許されませんでした。そこで、地獄に下りて、悪魔の所に行きました。悪魔はジャックとの約束を守って、地獄に入れてくれません。天国と地獄の間の暗闇をさまようしかないジャックは、行くところがなくなりました。悪魔に明かりなしでどうやったらここから出れるのかたずねました。すると、悪魔は、ジャックの行く手を照らすように、地獄からの残り火をポイッと投げました。ジャックは、好物のカブの中をくりぬいて、残り火を入れました。その日から、ジャックは休む場所もなく、自分で作った「ジャック・オ・ランタン」の明かりを頼りに地球上をさまよい歩きました。

万聖節の前日になると、アイルランドの人たちは、カブ、ヒョウタン、ジャガイモ等をくりぬきました。悪霊払いやジャックを遠ざけるために、くりぬいた野菜の中に明かりをともしました。これらの野菜のランタンが、ジャック・オ・ランタンの始まりでした。

1800年代には、アイルランド移民の波が、アメリカに再度押し寄せました。移民たちはカボチャがカブより大きくて、くりぬきやすいことが分ると、ジャック・オ・ランタンを作るのにかぼちゃを使いだしました。

【その他・連絡事項】

※昨年度（2/10）通知と同様

①降雪時の対応について

[前日に判断する場合] ※翌日はリモート授業実施

- ・翌日に登校することが困難で危険（大雪等）が予測される場合、前日の時点で、関係諸機関（市教委、NY教育審議会、気象関係機関等）へ情報を確認・協議し、「登校せず、リモート授業（午前中のみ）」と決定することがあります。
- ・決定後は、メールで全家庭に連絡します。※メールのチェック、確認をお願いします。

[当日に判断する場合]

【登校しない場合】

- ・当日の朝6時00分の段階で、登校・学校生活・下校に危険性が高いと判断した場合は「登校はせず、リモート授業（午前中のみ）」とします。

【登校時刻を変更する場合】

- ※当日の朝6時00分の段階で、登校に危険性が高く、その後「登校環境の改善」が見込まれる場合、「2時間遅れの登校」とします。

[その他・連絡方法]

- ・メールで全家庭に連絡します。
- ・当日の午前6時30分までに連絡がない場合は、「平常授業」と判断してください。

登校の最終判断について

登校の安全確保に関する最終判断は、保護者にさせていただいて結構です。
居住地域の特性や、道路状況を考慮していただき、安全を第一に判断いただきたいと思います。
※出席扱いとします。

②教会施設借用拡大について

- ・11月1日（月）から、教会施設の借用範囲を一部（東校舎）拡大することになりました。

【主な目的】

- 児童生徒数の増加にともない、コロナ感染症対策を保ちつつ、音楽教育の充実を図る。
- 学年集会・学部集会等、多目的に活用し、児童生徒の活動場面を多く設定する。

協力者へのお礼

今回の教会施設借用拡大に際しては、NJ学校運営委員会・NY日本人教育審議会・PTO OLPH教会等に多大なご理解・ご協力をいただきました。ありがとうございました。

③卒業式（令和3年度）の日程について

- ・予定日 令和4年3月10日（木）午後 予備日 3月11日（金）午後
- コロナ感染症対策を図りつつ、卒業生保護者、多くの在校生の列席を努力いたします。
卒業生はもとより、「より良いNJ校作り」のため、在校生の参列を工夫します。
※感染症状況の影響を受ける可能性があることを予めご理解ください。

④コロナ対応、自宅待機の出席について

- ・先日（10/1のメイプル）でお知らせしたように、3学期からは「レジャー旅行に対するライブ授業（ハイブリッド授業）は実施しない」とことといたします。
- ・その期間の遠隔授業（課題提示・オンデマンド視聴・課題提出等）に参加した場合には、「出席扱い」とします。

⑤調理実習について

- ・調理実習の実現に向け、感染症対策を十分に整えた実施方法を協議・模索中です。

【月の予定】

11 月			12 月		
日付	曜	行 事	日付	曜	行 事
11/1	月	<教育相談月間> ⑦全校集会	12/1	水	
11/2	火	パン	12/2	木	保護者面談Ⅱ(1-8)15:25 下校(特別日課)
11/3	水		12/3	金	保護者面談Ⅱ(1-8)15:25 下校(特別日課) ⑦委員会活動
11/4	木	※NJEA	12/4	土	
11/5	金	⑥⑦児童生徒総会 NJEA	12/5	日	
11/6	土		12/6	月	
11/7	日	第2回英検二次	12/7	火	⑤⑥書初め会(中) バーンズ来校 パン
11/8	月		12/8	水	学校説明会Ⅱ
11/9	火	期末テスト(中) パン	12/9	木	避難訓練
11/10	水	期末テスト(中) バーンズ来校	12/10	金	
11/11	木	Veterans Day	12/11	土	
11/12	金		12/12	日	
11/13	土		12/13	月	
11/14	日		12/14	火	パン
11/15	月		12/15	水	
11/16	火	おにぎりの日	12/16	木	
11/17	水		12/17	金	クリスマスギフト
11/18	木		12/18	土	
11/19	金	社会科見学(3)ハウスフーズ	12/19	日	
11/20	土		12/20	月	
11/21	日		12/21	火	⑦バスピック会議 バーンズ来校 パン
11/22	月	⑥ふれあい天文学	12/22	水	⑦お別れ集会
11/23	火	⑦委員会活動 卒業式写真撮影会 パン バーンズ来校	12/23	木	2学期終業式・大掃除(午前半日 11:45 下校)
11/24	水	早帰り 13:30 下校	12/24	金	冬季休業開始
11/25	木	Thanksgiving Day	12/25	土	Christmas Day
11/26	金	The Next Day of Thanksgiving Day	12/26	日	
11/27	土		12/27	月	
11/28	日		12/28	火	
11/29	月	保護者面談Ⅱ(1-8)15:25 下校(特別日課)	12/29	水	
11/30	火	⑦全校集会 パン 保護者面談Ⅱ(1-8)15:25 下校(特別日課)	12/30	木	
			12/31	金	

※NJEA⇒New Jersey Education Association Convention

現地校の教員の研修会日：兄弟姉妹が現地校通学者は影響の可能性あり。

※コロナ感染状況の変化によって上記予定は、変更になる場合があります。

喫緊に発出される学年通信・学部通信等で再度、ご確認ください。